

平成 16 年度

三重大学教育学部附属教育実践総合センター年報

所在地：〒514-8507 三重県津市上浜町 1515

電話 059-231-9339 FAX 059-231-9343

URL <http://cerp.edu.mie-u.ac.jp>

構成員（平成 17 年 1 月 31 日現在）：

センター長（併） 栗原 輝雄 教授 (kurihara@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9339)

専任教員

教育工学部門 下村 勉 教授 (simomura@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9340)

教育実践研究部門 須曾野仁志 助教授 (susono@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9341)

教育臨床研究部門 小山内 實 教授 (osanai@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9284)

岡田 珠江 助教授 (t-okada@edu.mie-u.ac.jp、059-231-9250)

客員教員 太田 克子 客員教授

事務補佐員 大平 幸枝 (ohira@salon.edu.mie-u.ac.jp、059-231-9339)

■ 学内での年間活動状況

a) センター主催・共催の研究会・研修会

名 称	概 要	時 期	期 間	対 象	回 数	参加者数
センター主催 ICERP 研究会	部門、学部、附属の連携のための研究会	2004.8～ 2005.3	1 年	学部・附属・他	年 3 回	のべ約 70 名/2 回
学習支援研究会	月例会での研究・実践の発表と討論	2004.4～ 2005.3	1 年	学校教育関係者	年 12 回	のべ約 120 名
三重インターネット教育利用研究会 (MIEUP)	メーリングリストによる交流と合宿 (1 回)	2004.4～ 2005.3	1 年	学校教育関係者		登録者約 100 名
センター主催 教育臨床研修講座	事例研究及び描画を用いたかかわり方	2004.4～ 2005.2	1 年	県内学校園	年 10 回	登録約 80 名のべ 195 名
SCS 遠隔共同講義「授業実践研究」(前期) 及び「情報とメディア研究」(後期)	SCS 遠隔共同講義に発信局・受信局として参加	2004.4～ 2004.12	9 ヶ月	教員内地留学生・学生	年 16 回	4～12 名/回
教育学部フレンドシップ事業	小学生のためのプレゼンテーション教室	2005 年 2/11	1 日	小学生	1	小学生 18 名 大学生 20 名

b) 附属学校園との共同研究プロジェクト/研究会/研修会

名 称	概 要	時 期	期 間	対 象	回 数	参加者数
附属学校園全体研修会	附属学校園の連携	2004.7～ 2005.3	1 日	附属及び学部教員	3 回	
こころのアトリエ・プロジェクト	絵画療法の実施	2004.10～ 2005.3	週 1	附小児童	15 回	のべ 70 人
附属幼稚園 園内研修会	発達支援の勉強会	2004.8.3 12.22	2 日	附幼教員	2 回	のべ 16 名
附属中学校 校内研修会	「気になる生徒」についての理解を深める会	2004. 8.19	1 日	附属中学校教諭	1 回	25 名
附属幼稚園新入園児選考	再検査	2004. 11.8	1 日	入園希望児童	1 回	17 人

c) センター専任教員の学部・大学院教育への参与状況

● 学部担当授業					
担当教員名	授業科目名	コマ数	人数	指導態様	備考
下村 勉	教育学	1コマ	35名	後期	
下村 勉	教育学演習	1コマ	30名	前期	
下村 勉	社会情報講究Ⅱ	1コマ	6名	通年	
下村 勉・須曾野仁志	情報科教育法	1コマ	32名	通年	
須曾野仁志	教育学	1コマ	42名	前期	
須曾野仁志	社会情報講究Ⅰ	1コマ	6名	通年	
須曾野仁志	教育実践演習	1コマ	22名	前期	
小山内 實	児童臨床心理学	2コマ	80名	前後期	
岡田 珠江	教育臨床Ⅰ	2コマ	80名	前後期	
岡田 珠江	学校カウンセリング	1コマ	40名	後期	
● 大学院担当授業					
下村 勉	教育学特論	1コマ	7名	前期	
下村 勉	教育学特論演習	1コマ	4名	後期	
須曾野仁志	学習支援特論	1コマ	15名	前期	
須曾野仁志	学習支援特論演習	1コマ	4名	後期	
小山内 實	臨床心理学特論	1コマ	4名	前期	
小山内 實	臨床心理学特論演習	1コマ	3名	後期	
岡田 珠江	学校臨床心理学特論	1コマ	17名	前期	
岡田 珠江	学校臨床心理学特論演習	1コマ	3名	後期	
● 教育学研究科免許法認定公開講座					
岡田 珠江	学校臨床心理学特論	1コマ	16名	集中	7/24, 25, 8/28, 29
下村 勉	教育学特論	1コマ	4名	集中	7/31, 8/7, 8, 9

【学部】○卒業研究生受け入れ・卒業論文指導

情報教育課程 2年生：6名、3年生：6名、4年生：7名、計19名)

学校教育教員養成課程・人間発達科学課程 3名

【大学院】○大学院生の修士論文指導 3名

■ 対外的な教育・研究活動状況

a) 都道府県/市町村/公立学校との協同事業による研究会・研修会

名称	概要	時期	期間	対象	回数	参加者数
情報教育教員内地留学生	県教育委員会派遣の教員の受け入れ	2004.4～2005.3	1年	学校教員		2名
学校カウンセラー養成内地留学生	県教育委員会派遣の教員の受け入れ	2004.4～2005.3	1年	学校教員		4名
三重大学キャンパスサイドスクール協働プロジェクト	大学周辺小学校5校との協働教育実践	2004.4～2005.3	1年	学校教員	15回	20名
『「総合的な学習の時間」充実プロジェクト』	三重県と高等研究機関との共同研究	2004.7～2005.3	9ヶ月		18回	17名
津市立栗真小学校1, 2年生授業学生派遣	パソコンポスター作成、三重大バリアフリー探検	2004.7～2004.11	7日	児童・学生	7回	40+35名
津市立南立誠小学校6年生授業学生派遣	ホームページ作成	2004.6	2日	児童・学生	2回	80+35名

名 称	概 要	時 期	期 間	対 象	回 数	参加者数
産学官研究交流フォーラム・オン・キャンパス展示会	センターの活動や開発ソフトの展示	2004.12.3	1日	一般	1回	
三重県教育委員会「県立学校における総合的な学習の時間の展開」	講座、指導・助言	2004.6.28	1日	学校教員	1回	40名
中部地区肢体不自由教育研究協議会分科会	助言者	2004.10.7	1日	学校教員	1回	30名
中部地区私学教育研修会	助言者	2004.10	2日	教員	1回	40名
三重生涯学習ネットワーク交流会	講演「生涯学習におけるe-ラーニングの進展と今後の新たな方向」	2004.12.4	1日	一般	1回	40名
三重県教育委員会「教育情報化コーディネータ養成研修」	講演、指導・助言	2005.2	1日	学校教員	1回	50名
津市教育研究会 情報部会	講師	2004.6.17, 29, 10.7	1日	学校教員	3回	のべ60名
上野市教育研究会算数数学部会	講師	2004.10.5	1日	教員	1回	15名
津市立南立誠小学校主催 校内研修会	不登校児童の事例検討 講師	2004.8.5	1日	学校教員	1回	25名
県教育委員会・美里村立高宮小学校共催 校内研修会	暴力的児童の事例検討	2004.11.4	1日	父母・教員	1回	30+10名
県教育委員会主催 いきいき親子サポート事業	子育ての諸問題の検討	10.30, 11.27, 1.29	1日	母親 支援者	3回	のべ90名
県教育委員会主催 学校・地域保健連携推進事業	事例検討に関する研修会 講師	2004.12.3	1日	学校教員	1回	60名
鈴鹿市立白子小学校主催 校内研修会	不登校児童の事例検討 講師	2004.12.10	1日	学校教員	1回	25名
松阪市立教育研究所主催 研修講座教職専門講座	児童生徒事例検討会 講師	2005.1.21	1日	学校教員	1回	15名
県立松阪高校主催 未来設計ガイダンス	進路指導 講師	2005.1.26	1日	生徒	1回	32名
伊賀市立壬生野小学校主催 校内研修会	気になる子の事例検討 講師	2005.2.18	1日	学校教員	1回	20名

b) 教育臨床部門専任教官による公立学校等へのカウンセリング／コンサルテーション活動状況

- ・附属幼稚園（教諭へのコンサルテーション・適宜・1回・2人）
- ・附属小学校（教諭へのコンサルテーション・適宜・5回・延べ10人）
- ・教育実践総合センター心理相談室（コンサルテーション・通年・県内学校園教諭・週1回・延べ13人）
- ・教育実践総合センター心理相談室（カウンセリング・通年・県内児童生徒、保護者・週1回・延べ36人）
- ・教育実践総合センター心理相談室（スーパービジョン・通年・臨床心理士・月1回・延べ10人）

c) その他

- ・四日市市立教育センター・視聴覚センター運営協議会委員長 年2回
- ・三重県高等学校入学者選抜制度検討委員会委員長 2004.6～2005.1 6回
- ・学力向上フロンティア協議会委員長 2005.2 年1回

- ・ 県臨床心理士会主催 臨床心理学研修会指定討論者（事例検討会・2月・年1回・臨床心理士等・50名予定）
- ・ 県臨床心理士会 被害者支援研究会（被害者支援会のシステムの構築・8月より・通年）
- ・ スクールカウンセリング研究会（事例検討会・10月より隔月1回・県下臨床心理士・2回・延べ7名）
- ・ 国立大学教育実践関連センター協議会教育臨床研究部門、不登校研究会設立プロジェクト参画

■ センターの外部資金導入状況

a) センター専任教員が研究代表の科研費受給状況

助成金名称	研究題目	本年度金額	研究期間	研究代表者
文科省科学研究費補助金 基盤研究C	情報発信型教育における作品評価システムの開発と広域参画型学習への適用	190万円	2003～ 2004年度	下村 勉
文科省科学研究費補助金 基盤研究C	学習者が格フレームを用いて学習成果を入力する協働データベースの開発と実践	220万円	2004～ 2005年度	須曾野仁志
文科省科学研究費補助金 若手研究B	学校カウンセリングにおける絵画療法と家族イメージ彩色法の日独比較	270万円	2004～ 2005年度	岡田 珠江

b) センター専任教員あるいはセンターとして受給した学内科研

助成金名称	研究題目	本年度金額	研究期間	研究代表者
三重大学COE-B	感性システムの構造化とそれを基盤としたアクションリサーチ的アプローチの可能性の探求	30万円	2004～ 2008年度	根津知佳子 (分担： 岡田珠江)
学部長裁量経費（地域連携分）	三重大学キャンパスサイドスクール協働プロジェクト	30万円	2004年度	須曾野仁志

c) センター専任教員あるいはセンターとして受給した外部資金導入

助成金名称	研究題目	本年度金額	研究期間	研究代表者
三重県高等教育機関と県との共同研究	「総合的な学習の時間」の実践検証と充実・発展への提案	126万円	2004年度	下村 勉
松下教育研究財団・研究開発助成	学習記録の共有が可能な「デジタル大福帳」を用いた授業改善の研究	100万円	2004年度	須曾野仁志

d) センター（専任教員）が他のセンター（専任教員）と連携して申請した科研費受給状況

助成金名称	研究題目	本年度金額	研究期間	研究代表者
科学研究費基盤研究B	LMSをベースにした教員養成コアカリキュラム授業科目の共同開発・共同利用	44万円	2004～ 2005年度	村瀬康一郎 (分担： 岡田珠江)

■ 将来構想

- 新設のICERP研究会の継続発展を中心に、部門・学部・附属・地域の学校等との連携をはかること
- 現職教員の資質維持・向上のため、研修講座と内地留学のカリキュラムを充実させること
- 大学周辺公立学校および附属学校園と協働プロジェクトの推進を展開すること
- 共同研究プロジェクト等を通しての関係機関との連携強化をはかること